

モルガン・スタンレーと三菱 UFJ 信託銀行、日本企業に対する株式報酬制度導入に関するソリューション提供について、戦略的業務提携契約を締結

[ニューヨーク / カルガリー / 東京、2020 年 9 月 9 日] モルガン・スタンレー(NYSE: MS)は本日、Shareworks by Morgan Stanley (以下、Shareworks)と三菱 UFJ 信託銀行株式会社が戦略的業務提携契約を締結したと発表した。本提携を通じて両社は、日本企業の国内外役職員に対して株式報酬制度に係る管理サービスを提供することとなる。

Shareworks は株式報酬制度管理に係るソフトウェアや制度管理サービスを提供するグローバルなプラットフォームであり、世界の 150 以上の国々で、3,900 社以上の企業に属する 270 万人の役職員に対して 50 以上の通貨での取引を含む関連サービスを提供している。

日本におけるこの新たな戦略的提携は、モルガン・スタンレーが有する様々な福利厚生関連の金融ソリューションの提供を促進させ、その一環となる役職員のニーズに応える報酬制度サービスの提供により日本企業の競争力を維持・向上させることとなる。企業の福利厚生を最大化させるための各種ソリューションを提供する「Morgan Stanley at Work」としては、各ライフステージにおける生活設計など金銭的ストレスが役職員にとっての大きな不安要素となるなか、日本企業の米国在住職員に対して財務的健全性を支援する「ファイナンシャル・ウェルネス」サービスを提供する機会となる。

モルガン・スタンレーのウェルス・マネジメント部門で最高執行責任者を務めるジェド・フィン氏は次のように述べている。「日本においては株式報酬制度を導入する企業が年率 35%増加*するなか、三菱 UFJ 信託銀行との戦略的提携は Shareworks にとって多大な機会をもたらすであろう。本提携により、我々は日本企業の米国在住職員に対してもファイナンシャル・ウェルネスや退職給付制度、ウェルス・マネジメント関連のサービスを提供することが可能となる。」

三菱 UFJ 信託銀行は日本で有数の信託銀行であり、株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ (MUFG)の中核企業の 1 社である。モルガン・スタンレーと MUFG は、2009 年から戦略的提携関係にある。

この度の提携は、企業やその役職員に対して金融ソリューションを提供するビジネスにおいて主導的地位を得るといふモルガン・スタンレーのコミットメントを表す一例である。

モルガン・スタンレーは 2019 年 5 月に旧 Solium Capital Inc.を買収し、同社は Shareworks by Morgan Stanley とブランドを変更した。Shareworks は、退職給付制度やファイナンシャル・ウェルネスなども提供する Morgan Stanley at Work を構成する 1 社である。Morgan Stanley at Work は、そのサービス加入者が財務的目標を達成するためのプランを作成するうえで、先進的なソフトウェアや知的資本、金融教育などを様々なチャネルを通じて提供している。Shareworks は現在、米国、カナダ、欧州およびアジア太平洋地域に拠点を設けている。2019 年 5 月に同社を傘下に収めてから、Morgan Stanley at Work は Uber や Xero、Diageo、Coca Cola European Partners など 525 社の新たな顧客企業を獲得している。

モルガン・スタンレーについて

モルガン・スタンレーは、投資銀行、証券、ウェルス・マネジメント、資産運用事業において多岐にわたるサービスを提供する世界有数の総合金融サービス企業である。世界 41 カ国以上のオフィスを通じて、法人、政府、機関投資家、個人に質の高い金融商品およびサービスを提供している。同社に関する詳細については www.morganstanley.com をご参照ください。

###

* 出所： 開示資料を基に、三菱 UFJ 信託銀行調べ。
